

第5回 VICH 公開会議の開催報告

公益社団法人日本動物用医薬品協会は、2015年10月27日の夕刻から29日まで第5回VICH（日本・米国及びEUの三極の規制当局及び企業代表を主メンバーとする動物用医薬品承認申請資料の調和に関する国際協力）公開会議を京王プラザホテル（新宿）扇の間で開催しました。

今回の会議は、Reaching Out to the World（世界に手を差し伸べよう）という標語を掲げ、2002年10月以来13年ぶりの日本での開催であり、5大陸の23か国から189名（うち日本から113名）が参加しました。

初日にウェルカムレセプションが執り行われ、翌朝から福井邦顕理事長及び小風茂農林水産省消費・安全局長の開会挨拶に続く2日間で晚餐会を挟む計9つのセッションにおいて、(1)VICHの意義、(2)基調説明、(3)VICHガイドラインの活用、(4)企業の声、(5)動物福祉への貢献、(6)VICHトピック（検討課題）の現状、(7)VICH活動の現状、(8)オブザーバー及びアウトリーチメンバーの取り組み、及び(9)VICHの将来性について、セッションごとに2～4名の講演及びそれに関する質疑応答が行われました。

また、会場入り口の受付フロアでは、VICH専門家作業部会又は特別作業部会の活動状況を紹介した8枚のパネルが展示されました。

今回の会議が盛大に行われたのは、多大な寄付を頂いた当協会会員及びHealthforAnimals（世界動物用医薬品企業連合）の皆様並びに会議の運営にご協力頂いた農林水産省職員の皆様のお陰であり、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

なお、今回の会議の講演内容は、後日、VICHウェブサイト(www.vichsec.org)に掲載されます。



小風農林水産省消費・安全局長の開会挨拶

公益社団法人日本動物用医薬品協会